

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-39396

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月12日

(51) IntCl.⁴

識別記号

F I

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

3 3 0

13/00

3 5 1

13/00

3 5 1 G

H 0 4 L 12/54

H 0 4 L 11/20

1 0 1 B

12/58

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平9-197064

(22) 出願日 平成9年(1997) 7月23日

(71) 出願人 000005234

富士電機株式会社

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号

(72) 発明者 佐藤 守

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号

富士電機株式会社内

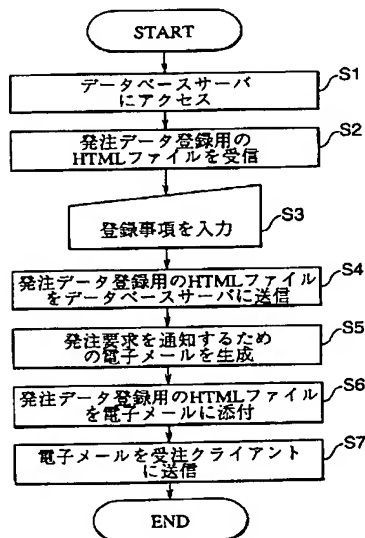
(74) 代理人 弁理士 森 哲也 (外3名)

(54) 【発明の名称】 ネットワークを利用した受注システム

(57) 【要約】

【課題】 発注データを検索するために要する時間や手間を低減し、受注端末で発注端末からの発注要求およびその内容を即時に受けることのできるネットワークを利用した受注システムを提供する。

【解決手段】 発注端末と、受注端末と、発注状況を登録するデータベース端末と、が接続されたネットワークに適用されるネットワークを利用した受注システムであって、前記発注端末が発注に関する発注データを前記データベース端末に送信するのに応じて、前記発注端末に、前記発注要求を通知するための電子メールを生成させ、生成させた前記電子メールに前記発注データを添付させ、その電子メールを前記受注端末に別途送信させるようになっている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 発注端末と、受注端末と、発注状況を登録するデータベース端末と、が接続されたネットワークに適用されるネットワークを利用した受注システムであって、前記発注端末が発注に関する発注データを前記データベース端末に送信するのに応じて、前記発注端末に、前記発注要求を通知するための電子メールを生成させ、生成させた前記電子メールに前記発注データを添付させ、その電子メールを前記受注端末に別途送信させるようになっていることを特徴とするネットワークを利用した受注システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術の分野】本発明は、ネットワークに接続された、データベース端末、発注端末および受注端末間で、商品またはサービス等の発注/受注をするネットワークを利用した受注システムに係り、特に、発注データを検索するために要する時間や手間を低減するのに好適なネットワークを利用した受注システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ネットワークを介して商品またはサービス等の発注/受注をする方法としては、発注端末と、受注端末と、発注状況を登録するデータベース端末と、が接続されたネットワークにおいて、発注端末は、発注に関する発注データをデータベース端末に登録する一方、受注端末は、データベース端末に登録されている発注データを参照して自己への発注状況を把握するというものがあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来、ネットワークを介して商品またはサービス等の発注/受注をする方法にあっては、受注端末が発注状況を把握するためには、データベース端末にアクセスし、登録されている発注データを検索しなければならなかった。このため、発注データを検索するための時間や手間を要するだけでなく、発注端末からの発注要求に即時に応答するためには、データベース端末に頻繁にアクセスして発注データが登録されたか否かを監視していなければならなかった。

【0004】そこで、本発明は、このような従来の問題を解決することを課題としており、発注データを検索するために要する時間や手間を低減し、受注端末で発注端末からの発注要求およびその内容を即時に受けることのできるネットワークを利用した受注システムを提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明に係る請求項1記載のネットワークを利用した受注システムは、発注端末と、受注端末と、発注状況

を登録するデータベース端末と、が接続されたネットワークに適用されるネットワークを利用した受注システムであって、前記発注端末が発注に関する発注データを前記データベース端末に送信するのに応じて、前記発注端末に、前記発注要求を通知するための電子メールを生成させ、生成させた前記電子メールに前記発注データを添付させ、その電子メールを前記受注端末に別途送信させるようになっている。

【0006】このような構成であれば、商品またはサービス等の発注をしようとするときには、発注端末を利用して、発注に関する発注データを入力する。そうすると、発注端末では、入力された発注データがネットワークを介してデータベース端末に送信される。データベース端末では、発注端末から発注データを受信すると、その発注データが登録される。

【0007】これと同時に、発注端末では、受注端末に発注要求を通知するための電子メールが生成され、生成された電子メールに発注データと同一のデータが添付され、この電子メールが受注端末に別途送信される。

【0008】一方、受注端末では、電子メールを受信することにより発注端末からの発注要求が通知される。そして、添付されている発注データに基づいて、発注状況が把握される。

【0009】具体的には、例えば、発注端末と、受注端末と、データベース端末とが接続されたインターネットにおいて、発注端末からデータベース端末への発注データの登録をWWW (World Wide Web) 上で行うようにするとともに、発注端末および受注端末間では、電子メールの送受信ができるようにする。そして、発注端末で商品またはサービス等の発注をしようとするときには、WWWブラウザを利用して、データベース端末から与えられた発注データ登録用のHTML (Hyper Text Markup Language) ファイルに登録事項を記述し、このHTML ファイルをデータベース端末に送信するとともに、その一方で、登録事項を記述した発注データ登録用のHTML ファイルを電子メールに添付し、受注端末に送信する。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照しながら説明する。図1は、本発明に係るネットワークを利用した受注システムによる実施の形態を示すブロック図である。

【0011】この実施の形態は、本発明に係るネットワークを利用した受注システムを、図1に示すように、インターネットに接続された、発注クライアント、受注クライアントおよびデータベースサーバ間で、商品の発注/受注をするとともに、発注クライアントからの発注要求を受注クライアントに通知するのに適用したものである。

【0012】図中、商品の発注をするための発注クライ

アント1と、商品の発注を受けるための受注クライアント2と、商品の発注状況を登録するデータベースサーバ3とは、インターネット4を介して相互に接続されており、データベースサーバ3では、商品の発注に関する発注データの登録および登録されている発注データの提供がWWW上で可能となり、発注クライアント1および受注クライアント2間では、電子メールの送受信が可能となっている。

【0013】発注クライアント1、受注クライアント2およびデータベースサーバ3は、図2に示すように、同一機能を有して構成されており、演算およびシステム全体を制御する演算処理装置5と、データの読み出しおよび書き込みが可能な主記憶装置6および補助記憶装置7と、外部からのデータ入力可能なヒューマンインターフェースとしてのキーボード8と、キーボード8および外部とのデータの入出力を行うインターフェース部9と、主記憶装置6の特定領域に格納されているデータを画像信号に変換して出力するCRT制御装置10と、CRT制御装置10から出力された画像信号に基づいて画面を表示するCRT11と、で構成されており、演算処理装置5、主記憶装置6、補助記憶装置7およびインターフェース部9は、データを伝送するための信号線であるバスで相互に接続されている。

【0014】主記憶装置6は、あらかじめ演算処理装置5の制御プログラム等が格納されているROMと、補助記憶装置7から読み込んだデータおよび演算処理装置5の演算過程で必要な演算結果を格納するRAMと、CRT11に表示するための表示データを蓄積するVRAMと、で構成されている。なお、VRAMは、演算処理装置5とCRT制御装置10とで独立に、かつ、相互にアクセスが可能となっている。

【0015】補助記憶装置7は、FDDまたはHDD等の不揮発性記憶媒体からなり、発注クライアント1、受注クライアント2およびデータベースサーバ3間で送受信されるデータを格納するようになっている。

【0016】CRT制御装置10は、主記憶装置6のVRAMに格納されているデータを先頭アドレスから所定周期で順次読み出し、読み出したデータを画像信号に変換してCRT11に出力するように構成されている。

【0017】発注クライアント1の演算処理装置5は、マイクロプロセッサユニットMPU等からなり、商品の発注をしようとするときには、主記憶装置6のROMの所定領域に格納されている所定のプログラムを起動させ、図3のフローチャートに示す処理を実行するようになっている。

【0018】つまり、発注クライアント1の演算処理装置5で、商品の発注をしようとするときに実行される処理は、次のように構成されている。まず、図3に示すように、ステップS1に移行して、データベースサーバ3にアクセスし、ステップS2に移行して、発注データ登

録用のHTMLファイルをデータベースサーバ3から受信し、ステップS3に移行して、商品の発注をする際に必要な登録事項をキーボード8から入力し、ステップS4に移行するようになっている。

【0019】ステップS4では、登録事項を記述した発注データ登録用のHTMLファイルをデータベースサーバ3に送信し、ステップS5に移行して、受注クライアント2に発注要求を通知するための電子メールを生成し、ステップS6に移行して、登録事項を記述した発注データ登録用のHTMLファイルを生成した電子メールに添付し、ステップS7に移行して、電子メールを受注クライアント2に送信し、一連の処理を終了するようになっている。

【0020】受注クライアント2の演算処理装置5は、マイクロプロセッサユニットMPU等からなり、データベースサーバ3に登録されている発注データを検索しようとするときには、主記憶装置6のROMの所定領域に格納されている所定のプログラムを起動させ、データベースサーバ3とのデータの送受信を行うための処理を実行するようになり、発注要求を通知するための電子メールが発注クライアント1から送信されたときには、その旨をCRT11を介して通知するとともに、電子メールに添付されている発注データ登録用のHTMLファイルの内容をCRT11に表示する処理を実行するようになっている。

【0021】データベースサーバ3の演算処理装置5は、マイクロプロセッサユニットMPU等からなり、発注データ登録用のHTMLファイルが発注クライアント1から送信されたときには、主記憶装置6のROMの所定領域に格納されている所定のプログラムを起動させ、発注データ登録用のHTMLファイルに記述されている登録事項を補助記憶装置7に登録するようになり、登録している発注データの検索が要求されたときには、検索対象となる発注データを補助記憶装置7から検索して提供する処理を行っている。

【0022】次に、上記実施の形態の動作を説明する。まず、商品の発注をしようとする発注者は、発注クライアント1を利用する。そうすると、発注クライアント1では、WWWを介してデータベースサーバ3にアクセスされる。データベースサーバ3では、発注クライアント1からのアクセスがあると、発注データ登録用のHTMLファイルが発注クライアント1に送信される。そして、発注クライアント1では、その発注データ登録用のHTMLファイルを受信される。

【0023】このとき、発注者は、受信した発注データ登録用のHTMLファイルの書式に基づいて、商品の発注をする際に必要な登録事項をキーボード8から入力するものとする。発注クライアント1では、登録事項が記述された発注データ登録用のHTMLファイルがデータベースサーバ3に送信される。データベースサーバ3

では、発注データ登録用のHTMLファイルが発注クライアント1から送信されると、発注データ登録用のHTMLファイルに記述されている登録事項が補助記憶装置7に登録される。

【0024】これと同時に、発注クライアント1では、受注クライアント2に発注要求を通知するための電子メールが生成され、登録事項が記述された発注データ登録用のHTMLファイルが電子メールに添付され、その電子メールが発注クライアント2に送信される。受注クライアント2では、発注クライアント1から電子メールが送信されると、その旨および電子メールに添付されている発注データ登録用のHTMLファイルの内容がCRT11に表示される。そして、商品の発注を受ける受注者は、受注クライアント2のCRT11に表示される内容に基づいて、受注クライアント2に対する商品の発注状況を把握する。

【0025】なお、受注クライアント2では、例えば、インターネットに接続された他のコンピュータにより登録された発注データを検索するとき、または、登録されている発注データの集計を行うときには、データベースサーバ3に対して発注データの検索が要求される。データベースサーバ3では、発注データの検索が要求されると、該当する発注データが検索され、その検索結果が発注クライアント2に送信される。

【0026】このようにして、発注クライアント1と、受注クライアント2と、データベースサーバ3と、が接続されたインターネットにおいて、発注クライアント1が発注事項を記述した発注データ登録用のHTMLファイルをデータベースサーバ3に送信するのに応じて、発注クライアント1に、商品の発注要求を通知するための電子メールを生成させ、登録事項を記載した発注データ登録用のHTMLファイルを電子メールに添付させ、その電子メールを受注クライアント1に送信させるようにしたから、発注データを検索するために要する時間や手間を低減することができるとともに、受注クライアント2が発注クライアント1からの発注要求およびその内容を即時に受けることができる。

【0027】なお、上記実施の形態においては、発注クライアント1および受注クライアント2が1台ずつ接続されたインターネットに適用するように構成したが、これに限らず、複数台の発注クライアント1および受注クライアント2が複数台接続されたインターネットに適用するように構成してもよい。

【0028】また、上記実施の形態においては、発注クライアント1、受注クライアント2およびデータベースサーバ3が接続されたインターネットに適用するように構成したが、これに限らず、WWWおよび電子メールが利用可能なネットワークであれば、あらゆるネットワークに適用するように構成してもよい。

【0029】さらに、上記実施の形態においては、本発

明に係るネットワークを利用した受注システムを、商品の発注/受注をする場合について適用したが、これに限らず、サービスの発注/受注をする場合について適用してもよい。

【0030】さらに、上記実施の形態において、演算処理装置1で、図3のフローチャートに示す処理を実行するにあたってはいずれも、主記憶装置3のROMにあらかじめ格納されているプログラムを実行する場合について説明したが、これに限らず、これらの手順を示したプログラムが記憶された記憶媒体から、そのプログラムを主記憶装置3のRAMに読み込んで実行するようにしてもよい。

【0031】ここで、記憶媒体とは、RAM、ROM、FD、コンパクトディスク、ハードディスク、光磁気ディスクまたは紙等の記憶媒体であって、電子的、磁氣的、光学的等の読み取り方法のいかにかわらず、コンピュータで読み取り可能な記憶媒体であれば、あらゆる記憶媒体を含むものである。

【0032】さらに、上記実施の形態において、演算処理装置5で、図3のフローチャートに示す処理は、いずれも、ソフトウェアで構成した場合について説明したが、これに代えて、比較回路、演算回路、論理回路等の電子回路を組み合わせるように構成してもよい。

【0033】上記実施の形態において、発注クライアントは、請求項1記載の発注端末に対応し、受注クライアントは、請求項1記載の受注端末に対応し、データベースサーバは、請求項1記載のデータベース端末に対応している。

【0034】

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係るネットワークを利用した受注システムによれば、発注データを検索するために要する時間や手間を低減することができるとともに、受注端末で発注端末からの発注要求およびその内容を即時に受けることができるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施の形態の構成を示すブロック図である。

【図2】発注クライアント、受注クライアントおよびデータベースサーバの構成を示すブロック図である。

【図3】発注クライアントで、商品の発注をしようとするときに実行される処理を示すフローチャートである。

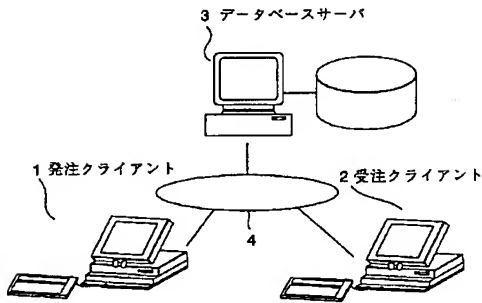
【符号の説明】

1	発注クライアント
2	受注クライアント
3	データベースサーバ
4	インターネット
5	演算処理装置
6	主記憶装置
7	補助記憶装置
8	キーボード

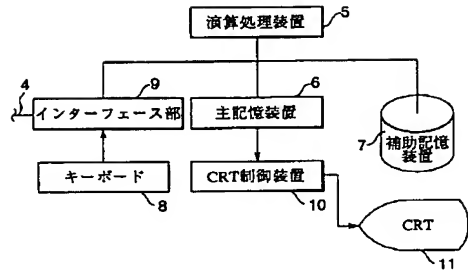
9 インターフェース部
10 CRT制御装置

11 CRT

【図1】



【図2】



【図3】

